

明治大学大学院ビジネススクール講義

基本テーマ 『経営と CSR を考える』 第一回シナリオ

イントロダクション

1. テーマの設定

- CSR は経営そのものであると言われる。しかし、厳しい競争の中で、なぜ人やお金をかけて CSR なのか？どのように位置づけるのか？どのような活動をすべきなのか？などを深く考え、整理してかかれないと経営成果に結びつかず、ステークホルダーの理解も得られず、形だけの CSR に終わってしまう。
- 問題意識の根底には「企業とは何か？経営とは何をする事なのか？企業で働くことの意義は何か？」という問いがある。
- 私のビジネス経験と、国連グローバル・コンパクトなどの社会活動などの実践事例とその背後にある考え方を皆さんとシェアし、皆さんに自ら深く考えてもらおうきっかけにしたい。

2. 四回の講義のテーマ（予定）

- 第一回： 私の経営実践と企業経営の考え方
- 第二回： CSR の進化と発展
- 第三回： 東日本大震災と CSR
- 第四回： これからの企業経営の方向付け

第一回 私の経営実践と経営の考え方

第一回は、導入部として私自身と私の経験の主要部分である富士ゼロックスの概要をご紹介します、これからのお話の背景を理解してもらおう。それと同時に、企業における厳しい経験の中から私が何を感じ取ってきたのか、第二回以降のお話につながる問題意識を提示したい。

1. 私の企業人としての出発点とここまでのキャリア

- ①働くことの意義：富士ゼロックスとの出会い
- ②その後のキャリア
- ③現在の役割

2. 富士ゼロックス進化の歴史

- ① 富士ゼロックスの企業概要
 - 現在の事業分野
 - 業績の現状
- ② 技術と事業と市場の進化・拡大
 - 白黒・アナログ複写機 ⇒ デジタル化・カラー化 ⇒ ネットワーク化・サービス化 ⇒ オフィスの統合センターシステム化 ⇒ クラウド化による新しい可能性
 - 極東アジア担当 ⇒ オセアニア獲得 ⇒ 中国獲得 ⇒ 世界市場進出 ⇒ 世界 Xerox G 全体の供給責任
- ③ 強靱な企業力と CSR
 - 工場と開発機能獲得・研究所設立 ⇒ TQC ⇒ V06
 - 創業の理念 ⇒ 企業品質 I ⇒ NWW ⇒ よい会社 ⇒ 企業品質 II

3. お話したい私の経験

- ① XIP 社倒産の危機
 - 想定 of 甘さと対応の遅さ
 - 事業継続という社員に対する責任
- ④ 発火事故
 - 孤独な決断
 - 安全という企業防衛の責任
- ⑤ 全社構造改革から CSR へ（第四回で詳しく触れる）
 - 市場環境変化の『不都合な想定』
 - 企業力変革のタスク：構造改革実現のカギ
 - 社会全体に対する企業責任